



精華地域学校規模適正化検討協議会ニュース



第2号

平成 26 年6月4日
教 育 政 策 課

第2回協議会が5月19日(月)に開催されました。

第1回協議会の質問についての教育委員会からの回答



(→は市教委からの回答)

OH20年度に開催された精華地域学校規模適正化推進協議会の内容と委員の任期についてはどうなっているのか。

→この協議会は地域を中心として立ち上げていただいております。したがって協議会の開催および運営は会長にお願いしておりますので、市教委として委嘱等は行っておりません。H20年度の推進協議会においては、市教委が準備した資料の表現に配慮を欠く部分があるなど、継続開催が難しくなりました。については、役員の入替わりがあったことなどをふまえて、現在の新しい委員により検討協議会を立ち上げていただきました。

○市教委の目標としている統合後の小学校の姿について知りたい。

→市教委としては、現在行っている重点施策をふまえて、教育内容を充実していきたいと考えています。

○精華小の保護者の実態や意見を聞きたい。

→座談会の開催やアンケート調査の実施など、PTA 役員の方と相談しながら、保護者の皆様の意見をお聞きしていきます。

協議会では、次のご意見やご質問をいただきました。(概要)



OH20年度の推進協議会か今回の検討協議会か、どちらか一方に整理する必要がある。一度、以前からの課題を整理してほしい。

○過去の課題を整理した上で、継続した検討課題の精査をしていかないと前に進まない。具体的な議論のテーマが見えてこないから、まずは過去の整理をするべき。

○現実子どもがいるのだから、できるだけ早く形を整えて同じことの繰り返しとならないように進めてほしい。

→推進協議会については、会長と市教委で調整を図ってまいります。検討協議会では、抜けているところや新たな課題について、作業部会を出していただきながら進めていければと考えています。

※会長の提案で、作業部会の開催が決定されました。(詳細は裏面にあります)

○統合後の校舎をどこにするかということは決定しているのか。

→奈良市学校規模適正化中期計画においては、帯解小学校との統合再編を検討することが示されています。市教委としては、現在の帯解小の場所での統合を考えています。精華小・帯解小の140年の歴史がゼロになるのではなく、統合再編によってそれぞれの学校が刻んできた歴史に新たな1年が加わると考えています。

○統合再編した場合、学校を公共施設として残すのなら耐震工事が必要ではないか。

→精華小はH25年に第一次診断を行いました。構造耐震指標(IS値)が学校において安全とされる基準値よりも低いとの結果でした。避難所に指定されているところから優先し工事を進められていますが、精華地域の避難所は精華分館が指定されていることや、奈良市学校規模適正化中期計画を鑑み、精華小の耐震工事は行われておりません。

○両方の学校を残してはどうか。入学式や卒業式は別に行い、授業は一緒に行う「複式学校」にしてはどうか。

○スクールバスについてはどのようになっているのか。地域の人もコミュニティーバスとして利用できないか。

→バスを出すことは予定をしていますが、ルート等についてはまだ決まっていません。誰がどのような形で利用するかを調査し、決めていく予定です。

作業部会の開催が決定されました。

地域住民の代表者・保護者の代表者・学校関係の代表者の3ブロックに分かれて、6月中に作業部会が開催されます。作業部会でそれぞれのブロックにおいて議論していただいた内容を、第3回検討協議会で報告していただく予定です。

お詫びと訂正

5月15日に発行いたしました「精華地域学校規模適正化ニュース」第1号の記載内容に誤りがありました。正しくは次の通りです。

「帯解地域の方の協議会はどのような状況なのか。」という質問の回答について

(誤) 帯解地域にも協議会があります。

(正) 帯解地域では、平成20年に協議会の準備を進めていただいておりますが、協議会は開催されておりません。

ご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。

第3回学校規模適正化検討協議会は、
7月11日(金)に開催されます。

お問い合わせ先
奈良市教育委員会事務局教育政策課
TEL 34-5386